

認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2025 年度事業報告書



2026(令和8)年6月

総括

24年度は通常の助成事業を中止にし、顕彰事業を行うという大きな決断をした。ただ、これまで26年間実施してきた通常の助成事業をやめてしまうことはできないという理事会決定で、今年度は通常助成も行ったため、顕彰事業は予算上縮小せざるを得ず、インパクトが乏しくなれし応募も減った。

ただ、災害頻発国である以上、災害支援や復興時の活動は、災害支援団体だけでしたり考えたりするのではなく、すべての分野で活動する団体が常に考えるべきことと言える。ワークショップで多様な分野の方たちが話し議論する場を持てたことは意義がある。次の段階も検討し始める時期になってきていると思われる。

成果と課題

① 助成事業

通常助成と顕彰事業との両方の実施となり、全体的に予定が例年より1か月遅れたが、昨年度の冊子作製も含め実施することができた。顕彰事業は災害時のことを被災地支援団体だけでなく、すべての分野の方々に思いを寄せていただく機会をつくることができ、少しずつ良いアイデアも出てきており、次の段階も検討し始める時期になってきていると思われる。

② 寄付・募金事業

今年度は昨年よりはご寄付が増えた。ただ、継続は難しいので、やはり引き続き新たな仕組みや遺贈寄付など開拓をすることが喫緊の課題であることは変わらない。

③ 中間支援事業

ボランティアマッチングサイト「ぼらくる」の活用支援窓口を継続した。10月に介護保険課から移管された KOBE シニア元気ポイント事業の機能が追加され、講座を実施することになり予定がタイトだった。来年度も継続受託が決定している。

また神戸市から会計講座も急遽受託し一層予定がタイトとなったが、好評を得て実施出来た。漆器洗浄・販売に関しては洗浄・販売・寄付を実施し、来年度は新たな展開を実施予定。

④ 運営管理

2度目の認定 NPO 法人格の更新を無事終えることができた。引き続き管理業務を実施していく。

目次

総括	2
目次	3
1 助成事業	
ア) しみん基金・こうべ助成事業	
①2025 年助成及び顕彰事業	4
②2025 年度しみん基金・KOBE 特別賞	6
③2025 年度黒田裕子賞	6
④顕彰事業・黒田裕子賞贈呈式	6
⑤災害被災地を支える人材活用を考えるワークショップ並びに冊子作製	6
イ) はあ〜とふるふぁんど支援事業	6
2 寄付・募金活動	
ア) 寄付金・募金受入	7
イ) イベント募金	7
①こうべ・あいウォーク 2026	
ウ) 協働企画型寄付システム	8
①古着チャリティ事業	
②寄付つき商品（有料試飲）	
③Yahoo ネット募金	
④ブランド物でキフ	
⑤継承本「神戸のなおちゃん」	
⑥その他	
エ) 遺贈寄付	8
3 中間支援事業	
ア) 神戸市ボランティアマッチングサイト「ぼらくる」	9
イ) KIITO:300 社会貢献事業	9
ウ) 2025 年度会計講座実施業務事業	9
エ) NPO 支援/ネットワーク活動	10
オ) 広報・情報発信	11
カ) 能登のお宝プロジェクト	11
4 運営管理	
ア) 会議	12
イ) 管理等	12
ウ) 運営上の重要事項	12

1 助成事業

ア)しみん基金・こうべ助成事業

①2025 年度助成事業および課題解決アイデア顕彰事業

1)助成及び顕彰の趣旨

当基金は阪神・淡路大震災で体感した支え合い、助け合いのすばらしさを大切に、地域に根ざし、次世代を担う若者と手を携えながら、草の根の活動を広げいきます。草の根活動とは、すなわち市民社会をつくる活動です。市民社会は、公共を、行政に頼るだけでなく、自律かつ自立した市民一人一人による自助と共助・互助で成していく社会であると考えています。

一方、近年は災害が多発化・激甚化しており、災害時は常に大きな社会課題の解決を迫られます。また平時の課題が大きく顕著にもなります。当基金は、日常の社会生活に必要な市民活動、これらの活動から生まれて来る被災地支援・復興へのアイデア（提案・提言）を何かの形で社会へ訴えることは出来ないか、それによって今後災害が起こった際に、それらが活かされる社会であって欲しいと考えています。

2)応募資格

◆助成事業（団体のみ）

- ・活動分野制限のない事業に対する助成です。
- ・阪神・淡路大震災被災 10 市 10 町を原則に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
- ・自主性を確保し、自律的に運営されている団体
- ・団体としての継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力及び体制を備えた団体
- ・正味財産が 2,000 万円以下の団体

◆アイデア募集（顕彰）事業（団体・個人）

- ・事業助成ではなく、活動分野も問いません。
- ・兵庫県内に主要な拠点を有する団体・個人
- ・大学等の教育研究機関単独ではないこと。
- ・アイデア（提案・提言）は多くのかたで共有することを前提としている旨を了承されていること。
- ・アイデア（提案・提言）が選出された場合は、さらに多様な視点を取り入れブラッシュアップすることを目的としたワークショップ（当基金主催）に出席できること

3) 助成事業および顕彰事業詳細

◆助成事業

① 基本方針

- A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
- B. 地域での他団体・組織との連携の観点を重視する。

② 限度額等

1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、金 50 万円を上限。（但し千円単位）
助成総額は 200 万円まで。

③ 対象期間 2025 年 11 月 1 日～2026 年 10 月 31 日

◆アイデア募集（顕彰）事業（団体・個人）

① 課題解決アイデア（提案・提言）とは

限定はありませんが、あくまで市民レベルで実現可能性のあるアイデアや必要な行政の仕組みについてのアイデア（提案・提言）であることを条件とします。

わかりやすいものを以下に例示します。

- ・支援の経験はしていないが、災害が起ったらこんなことに困るだろうから、こんな準備をしておきたいと考えるもの。
- ・災害支援と触接関係のない活動をしているが、その実践を復興に活かせれば、こんなことが

解決する。これまで実践してきた内容そのものではなく復興に活かす事が出来ると思われる活動。

- ・実際に被災地で支援を経験して、上手く出来たもの。およびこうすれば、より上手く出来ると気づいたもの。
- ・必要な行政の仕組みについては、この時にこのような行政の支援が必要だといったアイデア（提案・提言）でも構いません。
- ・分野は問いません。

※事業助成申請ではありません。

※法改正に関わるものは対象としません。

② 賞

入賞提案賞金 10 万円/件 総額は 30 万円を予定しています。

③ アイデア（提案・提言）のブラッシュアップのためのワークショップ

受賞したアイデア（提案・提言）を、共に議論し意見を形成するワークショップ（対面もしくはオンライン）を当基金主催により実施します。アドバイザーをお呼びするとともに、多様な視点を取り入れるため、誰でも参加できるような場とします。

4) 書類選考

全体的に例年よりスケジュールが 1 か月遅れたが、理事による事前採点表提出時に、団体への質問がある場合は質問票に記入し提出いただき、事務局で理事会までに該当団体に問い合わせる回答をまとめた。その後、10 月 15 日の理事会にて書類選考を実施。

5) ヒアリング調査 以下の通りヒアリング調査を実施した。

期 間：2025 年 10 月 25 日（土）～11 月 3 日（月・祝）

形 式：当基金理事による訪問（もしくはオンライン）、ヒアリング調査報告書の作成

4) 審査会

助成事業は公開審査会を、顕彰事業は非公開審査会を、以下の通り開催した。

開催日時：2024 年 10 月 21 日（月）

11:00～12:30 顕彰事業の非公開審査会

13:30～17:00 助成事業の公開審査会

会 場：こうべまちづくり会館

出席審査員（順不同・敬称略）：

津久井 進（審査員長）、石田 祐、岡野 亜紀子、高田佳代子、辻 幸志、
 鷺本 郁、花牟礼紀仁、本荘 雄一、森崎 清登

区分	番号	団体名	事業名
助成	1	フルムーン in 兵庫	次世代支援者を中心とした県下におけるひきこもり啓蒙啓発事業
	2	志芸の会	夏休みキッズ狂言会
	3	（特活）ミャンマーKOB E	急増するミャンマー人への生活支援と交流活動
	4	こうべすわやま森のつどい	諏訪山公園の地域財産を生かした乳幼児・小学生・親子を対象とした自然体験活動や芸術体験活動を主軸としたこどもの健全育成
	5	ベトナム夢KOB E	在日ベトナム人を知るための連続講座
	6	子どもの軽音楽部	子どもの音楽体験ワークショップと発表イベントの開催事業
顕彰	1	多文化ガーデン KOB E・ながた友の会	住居地の中に混在する空き家空き地活用から生まれる多文化共生社会の未来構想
	2	（特活）ウエルネスハート	こみか普及に関する提案

5) 顕彰提案決定団体・事業

審査会での選考結果を受けて助成事業は下表の6団体、顕彰事業は2提案に合計2,200,000円の賞金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

6) 覚書締結・助成金/賞金交付

上記各団体とオンラインにて、2025年12月12日(金)に助成金交付に関する覚書を読み合わせ、郵送にて締結した。覚書の提出を待ち、1月16日(金)に、各団体に対して助成金を交付した。

②2025年度しみん基金・KOBE特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与している。今年度は顕彰事業の賞金捻出のため、特別賞は中止した。

③2025年度・第9回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年1回表彰するもので、2017年度より創設されました。

理事の推薦の中から理事会で選考し、第9回の受賞者は七尾市で支援を続ける増島智子さんに送ることに決定し、贈呈した。

④2024年度顕彰事業・黒田裕子賞贈呈式

今年は顕彰事業贈呈式並びに黒田裕子賞贈呈式を同日開催し終了後に忘年会を行った。

- ・ 開催日時：2025年12月15日(月) 18:00~18:30
- ・ 開催場所：神戸市産業振興センター

⑤災害被災地を支える人材活用を考えるワークショップ開催

顕彰対象提案となった提案を対象に、多様な意見を取り入れるため、専門家だけでなく、一般募集も加え、ワークショップをアイデアごとに実施しブラッシュアップのワークショップを実施した。

- ・ 開催日時：2026年3月18日(水) 15:00~17:15
- ・ 開催場所：毎日新聞ホール
- 参加者：30名(アドバイザー、ファシリテーター、スタッフ含む)

イ) はあ〜とふるふぁんど支援(ボランティアあしすと部門)事業(受託事業)

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。(はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋)

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成14年度より毎年受託しています。

- ・ 主催：はあ〜とふるふぁんど実行委員会(神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合)
- ・ 支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている5名以上で構成される団体。
- ・ 支援金額 全体の活動費の4分の3相当で、最高100万円。

2025・2026年度事業

ともに兵遊協理事会の決定により、実施が見送られた。

2 寄付・募金活動

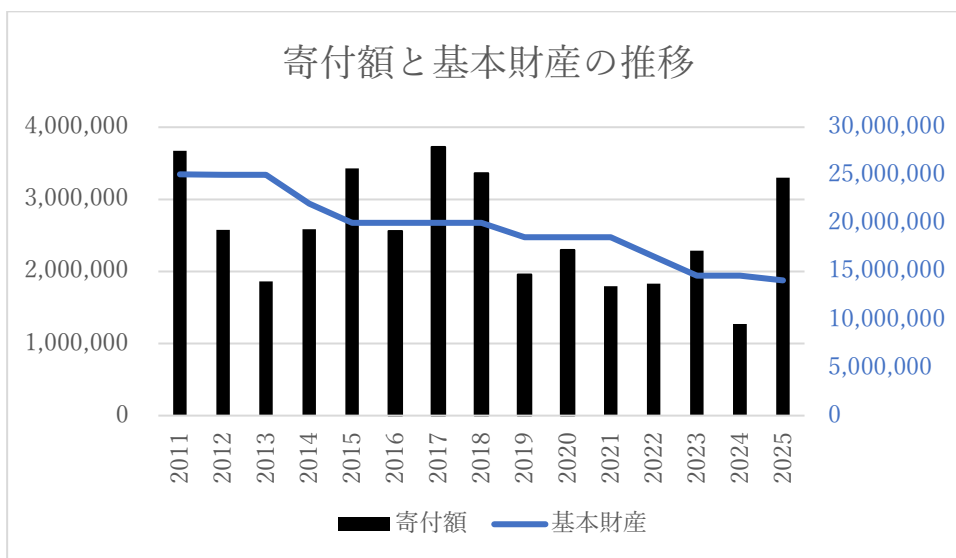
ア) 寄付金・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂いた。(敬称略・順不同)

中谷 豊	飛田 雄一	中島 秀男
吉本 悦	高橋 俊行	橋口 文博
山口 一史	羽田 英彦	森崎 清人
瀬戸口延恵	山田 剛司	觜本 郁
瀬戸口仁三郎	佐々木妙子	白水 士郎
近藤マヤ子	花牟礼紀仁	高田佳代子
山口 泰子	池見 宏子※	植田 雅人
大崎 育代	木村 暉美	大牟田佐智子
高橋 智子	津久井 進	尾崎 涼介
松本 博子		
宗教法人真如苑	ヤフービジネスサービス	白鶴酒造(株)
(有)神戸国際マーケット※	神戸マラソンフレンドシップバンク	
芦屋西宮市民法律事務所	兵遊協福祉基金	平和台基金
こうべあいウォーク 2026 実行委員会		ボックサン募金箱

総額 ¥3,301,070.-

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。
なお、※印は現物寄付によってご寄付を頂きました。



イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク 2026 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして今回も実行委員会形式で開催し、近畿労働金庫、コープこうべにご協力いただいた。震災から30年以上たったが、今年も150名の方にご参加いただいた。

※神戸マラソンフレンドシップバンクの寄付先です

■主催：こうべ・あいウォーク 2026 実行委員会 ((特活) 神戸まちづくり研究所、ふたば学舎、(認定特活) まちコミュニケーション、(認定特活) しみん基金・こうべ)

■協力：近畿労働金庫、生活協同組合コープこうべ

■日時：2026年1月11日(日) 9:30~13:00

プレウォーク 2025年12月11日 10:00~12:00

■場所：長田区(大国公園、カトリックたかとり教会、鉄人28号、大正筋商店街、ふたば学舎(旧

二葉小学校)、丸互市場、本町筋商店街など)

■実績：寄付金額／¥238,212.-

ウ) 協働企画寄付システム

① 古着チャリティ事業

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としている。ホワイト急便阪神御影店に「古着寄付 BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄付の増加に努めた。また、毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。今年度は自販機寄付もいただいた。

■提携先：(有) 神戸国際マーケット 寄付金額：¥244,504.-

② 寄付つき商品

白鶴酒造(株)「酒蔵開放」

白鶴酒造(株)が年開催される「酒蔵開放」での有料試飲コーナーの売上のご寄付については、今年度は春・秋ともに酒蔵開放のご寄付を頂き、来年度白鶴助成について検討した。ただ、来年度の継続は難しいとのことだった。

■提携先：白鶴酒造(株) 寄付総額：¥1,692,713.-

③ Yahoo ネット募金

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄付できる仕組みに登録している。2025年あいウォークもクレジットでのご寄付はこちらのサイトからもいただいた。

■提携先：ヤフー(株) 寄付金額：¥11,858.- (あいウォーク分除く)

④ ブランド物でキフ

ブランド品買取サービス「ブランディア」と寄付プラットフォームサービス「Syncable」の運営する買取寄付サービスを通じてご寄付いただくことができる。

■提携先：Brand Pledge、寄付金額：¥0

⑤ 継承本「神戸のなおちゃん」

長年小学校教員を務められ、阪神・淡路大震災後は復興担当教員もされていた池見宏子さんが、震災30年にあたり、1月に絵本「神戸のなおちゃん」を出版され、当基金へ献本くださった。1冊500円で販売を始める。寄付金額：¥2,000.-

⑥ その他

1) ろうきんNPO寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金額：¥6,000.-

2) 募金箱募金 協力設置場所：2ヶ所 募金金額：¥25,881.-

3) 印税寄付 「災害看護の本質」による印税寄付 寄付金額：¥0.-

4) まけないぞう販売 寄付金額：¥1,600

5) 神戸市ふるさと納税での寄付 寄付金額：¥96,000.-

(このうち60,800円が神戸市から助成される)

エ) 遺贈寄付

遺贈のご案内

ホームページに遺贈のページを掲載している。

(一社)全国レガシーギフト協会に加入しパンフレット配布依頼をした。

3 中間支援事業

ア) 「神戸市ボランティアマッチングサイト活用支援」業務

サイトの立ち上げから2年目となった「マッチングサイトぼらくる」の活用支援を継続して行った。10月に介護保険課から移管されたKOBEシニア元気ポイントのポイント寄与機能が一部追加され、活用促進のための講座を実施した。

実施内容

- ①問い合わせ窓口対応並びにアスタッフ、NTTへの連絡等
- ②投稿記事・登録情報へのアドバイス修正／(団体・個人)、マッチング対応への促し(団体)
- ③つなごう神戸登録団体等の未登録団体への登録促進とアカウント作成
- ④団体向け講座開催
- ⑤広報活動
(SNS、グーグル広告、他サイト掲載、チラシ修正・発送、メール広報、出張広報)
- ⑥登録団体・個人向けアンケート実施
- ⑦打ち合わせ
- ⑧年次報告

3月末日時点の登録数は、個人2,475名、団体604となっている。投稿プロジェクトは350件あり、ぼらくるを通じた応募は486件あった。

次年度に向け、昨年度からの継続提案も含め

- ★登録者数増加のための他サイトとの差別化
- ★応募窓口をぼらくるにするためのシステムの検討が必要
- ★KOBEシニア元気ポイント事務局との協力
- ★子ども家庭局との連携
- ★サイト改善とLINE連携
- ★アスタッフの作業速度
- ★メール配信機能の周知

の7点を提言した。

イ) KIITO:300 社会貢献事業

デザイン・クリエイティブセンター神戸からの受託事業として、KIITO:300において実施される相談事業などに関わったが、今年度は講座を実施できなかった。本事業としては今年度で終了するが残った漆器を一部預かっていただいている。来年度はその漆器に関する事業で協力を依頼したい。

- ① 相談対応：なし
- ② 能登半島被災ご家庭の漆器洗浄並びに委託販売
5/14 洗浄会 1F ショップでの販売を依頼。

ウ) 「2025年度会計講座実施業務」事業

神戸市からの受託事業として、NPO法人やNPO法人を目指す団体向けに、NPO会計講座を実施した。初級・中級・上級の3回を実施し、どの会も申し込みが多く満員御礼で好評を得ることができた。

初級

開催期日：1月27日(火)13時半～16時

開催場所：神戸国際会館8F804

参加者：16団体20名(キャンセル1名)

中級

開催期日：2月17日(火)13時半～16時

開催場所：神戸国際会館8F802

参加者：16団体17名（欠席3名・キャンセル1名）

上級

開催期日：3月11日（水）13時半～16時

開催場所：中央区文化センター1111

参加者：12団体14名（欠席4名・キャンセル2名）

エ) NPO 支援/ネットワーク活動

- ① 中央区社協ご縁 de 交流会
日時：6月26日（木） 16:00～17:00
場所：中央区文化センター
- ② ごちやまぜかふえトワイライト交流会
日時：8月22日（金） 16:00～18:00
場所：白鶴酒造ホール
- ③ 兵庫県共同募金配分委員会
第1回日時：7/24 10時
場所：兵庫県福祉センター
第2回日時：8/26 10時半
場所：兵庫県福祉センター
第3回日時：10/28 10時
場所：兵庫県福祉センター
- ④ 令和6年度 K-onnect+（ボランティアコーディネーター連絡会）
第1回日時：7/17 15時
場所：こうべ市民福祉交流センター3F
第3回日時：11/7 15時
場所：こうべ市民福祉交流センター3F
- ⑤ 令和7年度災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議
日時：10月24日（金）13:30～16:30
場所：兵庫県学校厚生会館
- ⑥ 地域づくりネットワーク会議
日時：1月22日（水） 13:15～15:00
場所：クリスタルタワー3Fホール
- ⑦ 中央区地域協働課新年のつどい
日時：1月27日（火）17:00～19:00
場所：楠公会館
- ⑧ ひょうごボランティア基金助成事業報告会
日時：2月9日（月）13:30～16:30
場所：クリスタルタワー3Fホール
- ⑨ 居場所 “クロスオーバー” サミット in 神戸
日時：2月21日（土） 10:30～15:00
場所：だんじり会館
- ⑩ オープンKIITO
日時：3月1日（日） 11:00～16:00
場所：KIITO
- ⑪ KOBE シニア元気ポイント交流会
日時：3月12日 14:00～16:30
場所：KIITO
- ⑫ 地域共創マッチングフェア
日時：3月22日 13:30～17:00
場所：KIITO
- ⑬ ご縁 de ツナガル大交流会
日時：3月24日（日）14:00～15:30

場所：中央区役所

オ) 広報・情報発信

- ⑥ ニュースレター発行：3回
 - 1. 第66号：2025年8月、第67号：2025年12月、第68号：2026年3月
 - 2. ホームページに掲載
- ⑦ ホームページ、SNS：トップページ、助成事業等の適宜更新
 - 1. 最新記事を22本掲載。FB：最新記事を22本掲載
- ⑧ メルマガ等発行：8回
- ⑨ 検索サイト Google 広告による広告掲示回数(2025年度)
 - 1. 表示回数7,585回 クリック数1,677回 クリック率22.11%

カ) 能登のお宝プロジェクト

昨年度からの継続。神戸市からの仲介で、珠洲市に支援に入っている（一社）SAVE IWATE を通じて、被災した珠洲市のご家庭から、建物解体などに伴って捨てざるを得ない輪島塗漆器を譲り受け、ボランティアを募り漆器を洗浄、きれいになった漆器を販売し、経費を引いた売り上げを、（一社）SAVE IWATE を通じ、珠洲市の町内会に125,000円寄付した。珠洲から取り寄せた漆器を保管する場所が必要だったため、KIITOに協力を依頼し実施した。またどうしてもお膳が売れ残るため、お膳に関してはアップサイクルにつなげられないか検討する。

●第3回洗浄会

日時：5月15日（水）14:00～17:00

場所：KIITO:300

参加者：7名

●神戸まつり内減災ヴィレッジ「COMING KOBE25」にて販売

日時：5月18日（土）11:00～16:00

場所：東遊園地

●神戸JCの協力によりみなとまつりにて販売

日時：7月26日（土）27日（日）12:00～18:00

場所：メリケンパーク

※4月5日の水道筋商店街のイベントで「花たば」が販売協力、夏ごろまでKIITO内ショップ、および「須磨いるサロン」でも常設販売していただいた。

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：2025年6月3日（火）17:30～18:30

開催場所：ボランティアプラザセミナー室

出席会員数：15名（うち委任状提出11名）、正会員数：26名

- 審議事項：（1）2024年度事業報告並びに決算報告
（2）2025年度事業計画案並びに予算計画案
（3）役員一部交代について
（4）基本財産取り崩しについて

② 理事会

1. 2025年5月30日（水）開催場所：オンライン

審議事項：2025年度定時総会（6/3）に付議する事項の件、年度スケジュール

2. 2025年10月15日（水）開催場所：ボランティアプラザセミナー室

審議事項：助成・顕彰事業書類選考、スケジュール、黒田賞

3. 2025年11月28日（金）開催場所：こうべまちづくり会館

審議事項：助成・顕彰団体・金額の決定、ブラッシュアップワークの検討
「しみん基金 KOBE 特別賞」「黒田賞」の選考

③ 監査 2025年5月8日（木）開催場所：しみん基金・こうべ 事務所

監事（敬称略）：濱西敏郎氏、諫山一彦氏

⑤ 理事・審査員合同会議

2025年7月28日（月）開催場所：こうべまちづくり会館

議事内容：しおり、スケジュール、審査会について

イ) 管理等

① 所轄庁への事業報告書提出 6月下旬

② 認定法人関係報告書提出 6月下旬

③ 正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳	未納者数
個人	23	22	賛助会員に変更	190,000		3人
団体	3	2		60,000	1団体退会	
合計	26	24		250000		

ウ) 運営上の重要事項

① 2回目となる認定法人の監査を終え、認定更新が認められた。